

梶原町社協だより

# ゆすまいる

第17号

平成29年

7月

目次

平成 28 年度決算報告／社協新庁舎紹介 . . . . . 1P

ゆすはら複合福祉施設設立準備室よりお知らせ . . . . . 2P

ちょっと聞いてや～ ～みんなに知っちゃいてもらいたい～ . . . . . 3~4P

リユースゆすはらについて . . . . . 5P

ごあんない . . . . . 6P

Cover's Story (高幡地区障害者運動会)



# 平成二十八年年度決算

- ◆安心生活基盤構築事業  
6区に担当職員を配置。アウトリーチ（訪問による個別支援・相談援助）活動を展開。（延べ訪問件数814件）
- ◆総合相談（延べ相談件数）  
福祉サービス利用援助事業（202件）  
生活福祉資金貸付事業（0件）  
生活困窮者自立支援事業（43件）  
就労準備支援（就労体験）1件  
無料法律相談【法テラス】（15件）  
リユースゆすはら（休眠資源活用）  
譲渡希望91件 提供登録81件  
マッチング50件
- ◆高知県共同募金会梶原町支会  
赤い羽根募金実績（825,667円）
- ※配分金事業  
まごころ弁当（555食）  
独居高齢者へのお便り  
よつば会独居高齢者訪問  
ミニいきいきふれあい広場  
災害ボランティアセンター（VC）体制整備  
障害者福祉大会支援  
無料法律相談  
災害義援金（929,511円）

- ◆ボランティア・福祉教育  
災害VC運営模擬訓練（梶原高校）  
梶原学園福祉体験講座（2回）  
地域支え合い活動つむぎあい（46回）  
認知症サポーター講座（1名）
- ◆団体事務局  
梶原町老人クラブ連合会  
梶原町身体障害者連盟
- ◆高齢者自発型安否確認システム（おげんき発信）26件
- ◆地域福祉計画・活動計画策定  
策定委員会 3回  
各区分科会 6回  
小地域座談会 15部落23回
- ◆施設設立準備  
学校訪問（6県 20校）  
施設視察（25施設）  
施設建設協議  
採用試験（採用 13名）

支出区分	金額（円）
人件費支出	45,225,922
事業費支出	3,873,301
事務費支出	7,244,210
負担金支出	36,000
その他支出	291,810
その他の活動支出	1,015,000
合計	57,686,243

# 社協事務所 紹介

平成29年4月1日より、梶原町社会福祉協議会は梶原町保健福祉支援センター西側に建設された町有施設の指定管理者の指定を受け、法人事務所を移転しました。  
1階は職員が勤める事務所、相談室兼授乳室、2階は20名程度（イスのみなら30名）の会議が可能な会議室になっております。



1F 事務所



2F 会議室

会議室は地域の皆様にも使っていただけますので、地域活動の際にご利用ください。



# ゆすはら複合福祉施設 設立準備室よりお知らせ

## 【お問合せ】

社会福祉法人梶原町社会福祉協議会  
施設設立準備室（担当）立道・山田・山中  
電話 0889-65-1800 FAX 0889-65-1802



## 準備室状況報告

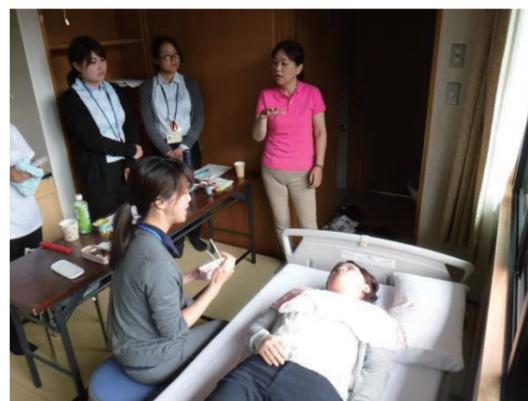
4月1日に採用となりました職員も、地域の皆さまの温かいご協力をいただきながら、日々、学びを深めております。今回は、この3か月間の研修内容についてご報告をさせていただきます。4月から5月にかけて、梶原町社協職員としての基本的な考え方や、町内の状況を理解することに重点をおいて研修を行いました。研修にあたり、町内各種団体の皆さまや各区長さんに講師を務めていただき、さまざまな視点からざっくばらんにお話しを伺いました。

そうした中で、水道施設ひとつを見ても、地域の方々の思いによって守られていることや、地域で暮らすお一人おひとりの公私を問わない支えあいの地域活動によって、私たちの生活が守られていることなどについて学ぶことができました。梶原の皆さまの地域愛と、厳しい環境の中で地道に生きてきた深い人間性に、深く感銘を受けました。

また、5月には町内の福祉事業所である（福）カルスト会、介護事業所なごみ梶原事業所のご協力をいただき、実地研修を実施いたしました。各職員の皆さまに同行し、町内各地を訪問させていただくなど、地域住民の皆さまの生活環境や日常に触れることができ、今後の施設運営を考えていくうえで、大変有意義な経験を得ることができました。

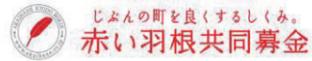
現在、町内外の施設等（町外の5施設及び梶原病院）において、6月から7月末まで2か月間の実地研修を行っております。それぞれの特色ある取り組みや、組織運営等、多角的に学習を重ね、個々のスキルアップを図ることは基より、生活拠点を移して研修を行うことで一社会人としての人間力の向上に努めていきたいと考えております。

職員一人ひとりが、さらなる自己研鑽に取り組み、梶原の地域福祉の推進にむけて取り組んでいきたいと思っておりますので、今後とも、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。





# ちょっと聞いてや〜 〜みんなに知っちゃいてもらいたい〜



## 地域活動推進事業 (旧ミニいきいきふれあい事業)

この事業は年3万円を上限に住民の交流を促進する活動を助成しています。昨年度から、部落内での活動だけでなく、地域のサークル活動でも助成が受けられるようになりました。

これまで助成金を活用した事例には、地域住民のそば打ち昼食会の材料代や、子育て応援サークルのイベント内でのカレーライス材料費などがあります。さらには集いの場で使用する血圧計の購入費など、地域の人々で使える物品の購入費や集いの場での食材費など、地域の“健康”、“安心”、“生きがいづくり”につながることを助成金を通して応援しております。

地域でやってみたい事があるので、助成を使えるか話を聞きたいとお考えの方、ぜひお気軽に梶原町社協までご相談ください。

担当：前田



## 未投函ハガキ・使用済み切手による 途上国支援活動ご協力をお願い

世界では多くの方が様々な原因で、尊い命を落としています。そのほとんどが、少し手を差しのべれば守ることができる命です。



皆さんのお宅にある未使用あるいは書き損じの未投函ハガキ、使用済み切手等、梶原町社会福祉協議会で集めています。皆さんのご協力により収集されるハガキや切手による資金は、途上国の農村地域等で暮らす方々の健康と命を守るための大きな力となります。

梶原町社会福祉協議会では集めたものを支援団体に寄付をします。皆さん、ご協力お願いいたします。

一例として、

- 書き損じハガキ1枚 ▶▶ ネパールではえんぴつ7本になる
- ハガキ52枚 または 使用済み切手約2kg ▶▶ ザンビアではひとりの女性が助産師の立会いのもと、施設で安全に出産することができる



## みんなが主役！ ボランティアセンター

### 災害時に備える

#### 災害ボランティアセンターとは

社会福祉協議会では、災害発生時に災害ボランティアセンターを開設し、被災地の支援ニーズ（要望）の把握・整理を行うとともに、支援活動を希望する個人や団体の受け入れ調整、すり合わせ等を行っています。災害発生時、被災地では災害救援ボランティアによる支援活動が大きな力を発揮し、重要な役割のひとつとなっています。

梶原町では、この災害ボランティアセンター機能を各区の自主防災組織をはじめ、地域の方々と共に運営する体制で取り組む方向です。まずはいざという時の災害に備え、模擬訓練を行っていくことにしています。是非、多くの方々に参加して頂き、災害について考えるきっかけにして頂ければと思います。



#### 四万川区災害ボランティアセンター運営模擬訓練

6月25日（日）に、四万川区自主防災会を中心に、地域の方65名の参加のもと、災害ボランティアセンター運営模擬訓練を開催しました。四万川区では初めての開催で、ボランティアセンターの仕組みや役割について学びました。その後、運営スタッフ役とボランティア役にわかれて模擬訓練を行いました。参加者からは「実際に動いて体験ができたので分かり易かった。」「イメージが掴めた」「繰り返して行っていくことが大切だと思う。」という声も頂き、とても有意義な時間となりました。想定を超える参加者の数に、四万川区の災害に対する意識の高さを感じられました。訓練後、貴重な意見を多数頂き、社協としても学びのある訓練となりました。



### 平時からつながるボランティア

#### ボランティアに来てほしい個人・団体の情報を募集中

社協では、災害時だけでなく平常時のボランティアセンターの運営も行います。その体制に併せ、「ボランティアしてくれる人おらんろうか」「こんなことお願いできる団体いないかな」といった情報を受け付けています。「ボランティアってどんなことでもいいの?」と思われた方、まずはお気軽に梶原町社協までご相談ください。

ボランティアセンターでは「ボランティアに来てほしい」「自分たちの取り組みを知ってほしい」という思いを持った団体・個人と「ボランティアをしたい」「人の役に立ちたい」「やってみたいけどどうしたらいいのかわからない」という人たちの思いをつなげる役割を担っています。



担当：宇賀

# ごあんない



## 第2回 県民いきいき講座開催します！！

第2回県民いきいき講座を開催することになりました！

今回は「自分らしい最期を迎えるために～自己決定と意思決定～(仮)」をテーマに高知県立大学看護学部特任准教授 森下幸子氏 にお話ししていただきます。最期まで自分らしく過ごすために必要なことや、大切なことについて学びます。みなさん是非参加してみてください。

【日時】平成29年8月28日(月)

【会場】ゆすはら・夢・未来館(2階大ホール)

【受講料】無料

※再講演のお知らせ  
7/13(木)に未来館にて第1回県民いきいき講座を開催しました。「高齢期のための整理収納術～困らないために今すべきこと～」をテーマに整理収納アドバイザーの島崎氏にお話ししていただきました。聞き逃しをされた方はふくし交流プラザで平成30年3月9日(金)に同じ講演がありますので、ご参加ください。

【問い合わせ】橋原町社会福祉協議会  
担当:前田

## ～福祉サービスで悩んだり、困ったりしていることはありませんか？～

各種社会福祉施設(老人ホームや就労継続支援事業所、保育所等)やホームヘルプサービスといった福祉サービス利用における疑問や悩み等の困りごとは、その事業者との話し合いでの解決が望めます。しかし、話し合いだけでは解決しなかったり、直接話すことに少し抵抗を感じたりする場合もあると思います。そのような時には「福祉サービス困りごと解決委員会」にご相談ください。秘密厳守で対応させていただきます。

相談は無料で、受付は年末年始を除いた平日の午前9時から午後4時までです。

所在地 〒780-8567 高知市朝倉戊 375-1

高知県立ふくし交流プラザ4F

高知県運営適正化委員会(福祉サービス困りごと解決委員会)

電話 088-802-2611 FAX 088-844-3852

e-mail: [kaiketsu@pippikochi.or.jp](mailto:kaiketsu@pippikochi.or.jp) (FAXとメールは24時間受付)



## 輝く橋原人！募集してますっ！

皆さんがひょっとしたら知らない、橋原で頑張っている人々を募集しています。地域で頑張っている方をぜひ教えてください。よろしくお祈りします！



## リユース・ゆすはら

【休眠資源再活用事業】

リユース・ゆすはらとは・・・ご家庭で「こんなものゆずってほしいな～」 「誰かに使ってほしいな～」

というご家庭で眠っている貴重な資源に新たな活躍の場所が見つかるよう社協がお手伝いする事業です。

## ～リユース・ゆすはらの利用方法について～

**物品『希望』者**

物品「希望」登録用紙 (ゆずってほしいな～)

ゆずってほしいな～

**物品『提供希望』者**

物品「提供」登録用紙 (ほしい人いないかな～)

まだ使えるけど、ほしい人いないかな～

※物品の管理は自宅をお願いします。

利用の流れ①登録用紙に記入をしてポストに入れます。(社協にお持ちいただく、又は電話でも可)

利用の流れ②頂いた情報を社協が取りまとめ、毎月、お知らせを発行します。

リユース・ゆすはらのお知らせ

「こんなものゆずってほしいな～」 「誰かに使ってほしいな～」 という物はありますか？ご家庭で眠っている貴重な資源に新たな活躍の場所が見つかるよう社協がお手伝いさせていただきます！

品名	状態(破損・汚れ・使用回数等)	品名	状態(破損・汚れ・使用回数等)
7 保温ポット	故障	10 炊飯ジャー	故障
10 スチームクリーナー	故障	17 子供用自転車	故障
17 子供用自転車	故障	22 パソコン	故障
22 パソコン	故障	23 掃除機	故障
23 掃除機	故障	24 洗濯機	故障
24 洗濯機	故障	25 電子レンジ	故障
25 電子レンジ	故障	26 電子レンジ	故障
26 電子レンジ	故障	27 ベビーベッド	故障
27 ベビーベッド	故障	28 ベビーベッド	故障
28 ベビーベッド	故障	29 ベビーベッド	故障
29 ベビーベッド	故障	30 ベビーベッド	故障
30 ベビーベッド	故障	31 ベビーベッド	故障
31 ベビーベッド	故障	32 ベビーベッド	故障
32 ベビーベッド	故障	33 ベビーベッド	故障

※この事業の利用者の情報は公開いたしません。マッチング成立の際も、同様です。

※ この事業の利用者の情報は公開いたしません。マッチング成立の際も、同様です。



社会福祉協議会

利用の流れ③物品希望者に物品の写真を見て頂き、希望に添えればマッチングをします。



マッチングの成立

現物を受け取った場合は万が一破損等があっても返品できません

詳しい利用方法については、毎月のお知らせをご覧ください。最近では事業を利用してくださる方が増え、問い合わせをたくさんいただいています。ありがとうございます！

ご不明な点は、社会福祉協議会までお気軽にご連絡ください。 担当:松本

## 『 第33回高幡地区障がい者運動会 』

- 主催 高幡地区障害者連絡協議会
- 対象者 身体、精神、知的障がい者
- ねらい 障がい者が、スポーツを通じて維持増進を図ると共に各地区の障がい者の方どうしの親睦を深める事。



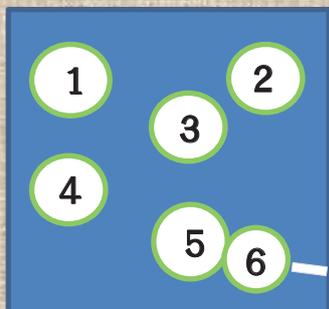
毎年高幡地区で開催される障がい者運動会が、今年は梶原町で開催されました。高幡地区内で6チームに分かれ、梶原町からは竹ぼうきの会の皆さん、みどりの家のご利用者、ボランティアよつば会が、競技と応援に参加してください、大いに盛り上がりました。競技では例年以上に手に汗握る接戦が多く、たびたび審判長による判定をする場面があり、各チームとも最後まであきらめない気迫を感じられました。また、昼休みにはよつば会の皆さんによる「へそ踊り」や、梶原高校生による「神楽」を披露していただき会場の皆さんを楽しませていただきました。

運動会を振り返って、1人1人の「やればできる」という可能性を感じました。しかし、障がい者の方がスポーツをしたくても競技を教わる障がい者スポーツ指導員やボランティアの方が少ないというのが現状です。私としては、町内に住んでいる障がい者の方々が障がい者スポーツに触れる事ができるスポーツ交流会などを通して親睦を深め、心身の健康と競技力向上を図っていきたくと考えています。そのために障がい者団体や施設、ボランティア、福祉行政機関と連携をとっていきたくと思います。

最後に、運動会に携わっていただいた各市町の事務局、ボランティア・各団体の皆さん、梶原高校の皆さんありがとうございました。

梶原町身体障害者連盟 会長 宮本友和

### \*\* 表紙の写真について \*\*



- ① 毎週月曜日に行われているフラダンス練習の様子
- ② 笑顔で写る中越愛さん樹生ちゃん親子
- ③ 結婚写真の撮影をされていた那須孝幸さん絵梨さんご夫婦
- ④ 高幡地区障害者運動会の様子
- ⑤ こども園から手づくりの鯉のぼりをいただきました
- ⑥ 松原区又川さんが撮影した竹の藪のひょうたん桜

### 🌸 表紙で使う写真を募集しています！ 🌸

いつも梶原町社協広報誌「ゆすまいる」を見て頂きありがとうございます。「ゆすまいる」では表紙に載せる写真を募集しています。「梶原」「笑顔」をテーマに、笑った人が写った写真、笑いたくなる写真、梶原町の景色、生き物などの写真を提供頂けたらと思います。構わない方は社協までご連絡ください。担当：宇賀・西村・中越(悠)